| 学校番号 | 2003 |
|---|---|

# 平成 31 年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報の科学 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「情報の科学」（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 「ケーススタディ 情報リテラシー」（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報科の求める生徒像

- **ルールを守る**（情報モラル・ログイン・ファイルを持参する）
- **授業への積極的参加**（休まない・話を聞く・積極的に取り組む）
- **考える力**（知識，技能をどう活かすか・深く学ぶ・聞くだけ，写すだけではない）

教科情報では、観点別評価により知識だけにとどまらない総合的な力を育みます。
毎時間の授業を大切にして、情報社会を生き抜く力を身につけて下さい。

- 昼休み・放課後の決められた時間 LAN 教室を開放します。自由に学んで下さい。
- 情報処理技術者試験の合格を 1 単位の増加単位として認定します。
- **ICT**（Information and Communication Technology）を
  **「情報社会を支える情報や情報技術およびコミュニケーション」**として扱います。

## 2　学習の到達目標

- ICTの役割や影響を**理解する**
- ICTを**問題の発見と解決**に効果的に**活用**するための**科学的な考え方**を習得する
- 情報社会の発展に**主体的**に寄与する**能力と態度**を習得する

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ICTの役割や影響に**関心**をもち，身のまわりの問題を解決するために，ICTを活用し，情報社会の発展に**主体的**に寄与しようとする。 | ICTの役割や影響及び身のまわりの問題を解決するためにICTを活用することについて，**科学的な考え方**を生かし，**思考**を深め，適切に**判断**し**表現**している。 | ICTを問題の発見と解決に効果的に活用するための**技能**を身に付け，**効果的に活用**している。 | ICTを問題の発見と解決に**効果的に活用**するための**知識**を身に付け,情報社会を支えるICTの役割や影響を**理解**している。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ワークシートの記述<br>授業ごとのポートフォリオ | 単元ごとのジャーナル<br>プロジェクトへの取り組み | 実習課題の作品<br>プロジェクトへの取り組み | ワークシートの記述<br>確認テストの結果 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | コンピュータと情報通信ネットワーク | ○オリエンテーション<br>・コミュニケーション<br>・学びのポートフォリオ<br>・学びのあしあと<br>○コンピュータの基本操作<br>・コンピュータの起動等<br>・ファイル操作<br>・タイピング<br>・コンピュータを扱う姿勢 | ○<br><br><br><br>○ | ○<br><br><br><br>○ | <br><br><br><br>○ | ○<br><br><br><br>○ | a:情報の科学における基本的な能力の習得への関心・意欲・態度が学びのﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵに現れている。<br>b:情報の科学における基本について判断し深く考えた上で学びのあしあとに表現できている。<br>c:コンピュータを扱う基本的な技能が身についている。<br>d:情報の科学における基本についての知識があり、理解している。 | ・ポートフォリオ<br>・ジャーナル<br>・制作物<br>・確認テスト |
| | 情報技術の進展と情報モラル | ○情報モラル<br>・情報モラルとは<br>・違いを知るワーク<br>・ピクトグラムとは<br>・情報モラルピクトグラム | ○ | ○ | ○ | ○ | a:情報モラルへの関心・意欲・態度が学びのﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵに現れている。<br>b:情報モラルについて判断し深く考えた上で学びのあしあとに表現できている。<br>c:情報モラルピクトグラムを制作できる。<br>d:情報モラルについての知識があり、理解している。 | ・ポートフォリオ<br>・ジャーナル<br>・制作物<br>・確認テスト |
| | 問題解決とコンピュータの活用 | ○Everyone Can Code<br>・はじめてのプログラム<br>・Computational Thinking<br>・アルゴリズム<br>・JavaScript | ○ | ○ | ○ | ○ | a:プログラミングやComputional Thinkingへの関心・意欲・態度が学びのﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵに現れている。<br>b:Everyone Can Codeについて判断し深く考えた上で学びのあしあとに表現できている。<br>c:基礎的なプログラミングの技能を習得している。<br>d:プログラミングの基本についての知識があり、理解している。 | ・ポートフォリオ<br>・ジャーナル<br>・制作物<br>・確認テスト |
| 2学期 | | ○ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ<br>「学校生活をよりよくするためのアプリを作ろう！」<br>・課題の発見<br>・ブレーンストーミング<br>・スタートアップピッチ<br>・ﾍﾟｰﾊﾟｰﾌﾟﾛﾄﾀｲﾋﾟﾝｸﾞ<br>・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの基本 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:身近な問題への関心・意欲があり、解決しようとする態度が学びのﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵに現れている。<br>b:問題解決のためのユニークなアイデアがあり、問題を解決するためのｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝを開発し、その成果をﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝできている。<br>c:ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝのためのスライドを制作し、ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝのプロトタイプを制作する技能を習得する。<br>d:問題解決のための知識があり、理解している。 | ・ポートフォリオ<br>・ジャーナル<br>・制作物<br>・確認テスト<br>・プレゼンテーション |
| | | ○アプリケーション開発<br>・Monacaの基本<br>・Monacaの実践<br>・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの改善 | ○ | | ○ | | a:アプリケーション開発への関心・意欲・態度が学びのポートフォリオに現れている。<br>b:アプリケーション開発の実現について深く考えている。<br>c:アプリケーションを開発するための技能を習得している。<br>d:アプリケーション開発のための知識があり、理解している。 | ・ポートフォリオ<br>・制作物 |
| 3学期 | 情報の管理と問題解 | ○一年間の学びをまとめるWebサイト制作<br>・Googleサイトを使ったWebサイト制作<br>・相互評価<br>・授業評価アンケート | ○ | ○ | ○ | ○ | a:一年間の学びへの関心・意欲・態度がまとめに現れている。<br>b:一年間の学びについて判断し深く考えた上でまとめを記述できている。<br>c:Webサイトを制作するための技能を習得している。<br>d:一年間の学びの知識があり、身についている。 | ・ポートフォリオ<br>・Webサイト |

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解